

市民のくらしを守る市政に

6月8日から開会した6月定例会が6月28日に閉会しました。10件の議案の他、最終日は2件の議案が追加となりました。日本共産党議員団は市民の利便に適うか審議を行い、7件に賛成し5件に反対をしました。また、議長・副議長・監査委員を除いた議員全員が一般質問を行いました。

議会最終日の補正予算を全員で可決 地方創生臨時交付金を活用して

小中学校給食費無償化の実現

- 2023年度2学期のみ
市内外の小中学校に通学するお子さん
全員対象
 - 2023年度3学期
市内外の小中学校に通学する多子世帯
の3人目以降のみ対象
- ※2024年度以降は未決定

日本共産党議員団は新日本婦人の会とともに、「学校給食費の無償化と安全な地元農産物の活用を求める署名」を、6月13日に市長・教育長に提出しました。来年度以降の完全無償化に向けて引き続き取組ます。

水道料金基本料金2カ月分免除

- 市内契約者全員
- 5.6月分または6.7月分の基本料金

重点支援給付金3万円支給

- 住民税非課税世帯対象
 - 7月31日頃に支給
または8月14日頃に支給
- ※物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の負担軽減を図る目的

福祉の後退 「あしたば第一作業所と川里ポプラ館を統合して移転」に反対

障害者の方が日中の生活拠点を過ごす場所として、市内には公設で川里・吹上の各1箇所を含め4箇所の支援施設があります。また、民間の事業者も多くあります。

川里にあるポプラ館と箕田地区のあしたば第

一作業所を統合し、総合福祉センターに移転をするという条例改定です。

障害はひとりひとり違います。丁寧な支援を行い安心して通える施設を運営することは自治体の役割です。

本当がわかる
明日が見える

しんぶん 赤旗

●日刊紙/月3,497円
●日曜版/月930円

見本紙
お届けします
※送料別
新型コロナ、政治、社会保障、経済、…「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。

こうのす民報

議会報告版

2023年7・8月号 第436号 ★政務活動費で議会報告を作成しています。

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団
鴻巣市天神5-5-15

竹田えつ子 すわみつえ

☎542-7072 ☎507-4151
FAX542-7101 FAX596-9440

大軍拡NO!くらしと平和を守る政治を

日本共産党衆議院選候補を発表

比例は塩川鉄也衆議院議員・梅村さえこ元衆議院議員
小選挙区埼玉6区は秋山もえ前県議



衆議院議員
塩川鉄也



元衆議院議員
梅村さえこ



前県議会議員
秋山もえ

日本共産党は、衆議院比例北関東ブロックの予定候補として、塩川鉄也衆議院議員・梅村さえこ元衆議院議員を、小選挙区埼玉6区予定候補に秋山もえ前県議を決定しました。総選挙での躍進をめざして頑張ります。

「健康保険法改正」・「原発推進等5法」・「マイナンバー法改正」・「入管法改正」「LGBT理解推進法」など、自民党・公明党・維新の会・国民民主党の「悪政4党」は、十分な国会審議もないまま次々と強行可決しました。昨年末に閣議決定した「安保3文書」に基づく「軍拡財源確保法」「軍需産業推進法」の強行は、戦争できる国づくりの準備に他なりません。

日本共産党は、「大軍拡大増税ストップ!」「軍事費増やすより国民の暮らしと平和を守れ!」と皆さんとともに頑張っていきます。

総選挙をめぐる動きは大変流動的ですが、「市民と野党の共闘」を大きくするため、要となる日本共産党を強く大きくして政治を根本から変えるために頑張っていきます。皆さんのあたたかいご支援をよろしくお願い致します。

法律・生活相談

生活相談はいつでもどうぞ。法律相談は毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ



竹田えつ子議員

ワンストップのお悔みコーナーの設置、マイナンバーカードの運用停止を

誰もが迎えることですが、死後の整理は遺族にとれば慣れないことばかりで大変との声が多く寄せられています。市役所の窓口を訪れ、国保・介護・上下水道課などそれぞれの窓口に行かなければなりません。市民を移動させるのではなく、専用の窓口で対応できるワンストップのお悔みコーナーの設置について質問しました。

市=おくやみ窓口のワンストップ率の向上をめざす

市は、おくやみ窓口は市民課に専用窓口を設置すること、健康保険や年金、介護など担当課に引き継ぐ場合でも可能な限り窓口を移動することなくその場で手続きが行えるよう努めると答えました。

利用者に寄り添った対応が重要であり、年末まで運用期間として取り組む、利用状況やアンケートで検証を行いながら、おくやみ窓口のワンストップ率の向上などを図り、来年1月を目途に本格運用を目指すとしていました。

遺族の気持ちに寄り添った対応になるよう、これからも注視していきます。

欠陥車が暴走しているのと同じ=マイナンバーカードの運用停止を求める

マイナ保険証をはじめ、マイナンバーに別人の情報の紐付け、同姓同名の別人へカード交

付、マイナポータルの不具合など数えきれないほどのトラブル続きで、マイナンバーカードに対する信頼は地に落ちていると言っても過言ではありません。欠陥車が暴走しているのと同じだと思います。政府はデータやシステムを秋までに総点検するとしています。市民に被害が出ないよう、いったん運用を停止して全面的な総点検を行うことを国に対して求める考えはないか、市の見解を質しました。

市は、国の動向を注視していくとの答弁にとどまりました。

笠原小学校跡地利活用について

笠原小学校の跡地利活用で、民間事業者と土地建物の賃貸借契約をしようとした時に79㎡の民地があることが分かりました。また笠原小学校には地方債の償還分が残っており問題ないのか。地方債の内容と民地のその後の対応について質しました。

市は、民地には39人の地権者がおり、県の土地開発公社に依頼して対応していること、地方債は合併特例債と緊急防災・減災事業債を活用して7,570万円借入を行い、昨年度末現在3,052万円の未償還があるが、土地建物の賃貸借契約には問題ないと答えました。今後も地元の方の声を反映させていきます。

一般質問



すわみつえ議員

小中一貫校に市民の声を フラワー号の増便を

小中一貫教育校は地域住民・教育現場の声をしっかりと聴いて

鴻巣市で初めての取組となる小中一貫校の新設について、地域住民・子どもたち・教育関係者・市民の意見を十分に聞き、理解を得たうえで進める必要があると考えます。また、教員の未配置未補充の改善を求め質問をしました。

【質】プロポーザル公募の際の「仕様書」案では、委託先に求める業務内容として、ワークショップの運営を行い川里中学校区の地域特性や課題の整理をする。学校施設の整備の将来にわたる財政負担を考慮してコスト削減の可能性の検討をする。などとしています。

小中一貫校基本構想・計画の策定はプロポーザルに丸投げでなく、教育委員会が主体的にビジョンを示し策定すべきではありませんか。

【答】小中一貫教育校の新設は鴻巣市では前例のないことであり、より良い学校を新設するためには、過去に同様の業務に携わった実績がある業者のノウハウを活かして取り組むべきと考えます。

【質】全国的に学校に行っても受けられない授業があり、担任の先生が決まらないなど教員の未配置未補充の事態が起きています。本市において、1校につき1人配置されなければならない専任の教師が配置されずに、複数の学校で教科を教えている実態があるか。もしあるとすれば教員の加重負担にならないような取組をおこなっているか伺います。

【答】現在、産休等の代員が見つからないなどの理由から、兼務発令により複数の学校で教え

ている教員の实態があります。担当する授業時数を減らしたり、校務分掌などの対応で負担軽減を図るようにしています。

コミュニティバス・フラワー号の増便を

【質】高齢者は、車の運転をやめるとすぐに買い物や通院に支障をきたします。コミュニティバス・フラワー号の吹上コースは3時間に1本の運行です。増便する予定は。

【答】吹上地域は運行本数の改善を求める意見が多く、利用者数の増加も見込めるため吹上駅から北鴻巣駅間の増便を検討することとしています。

新ごみ処理施設建設に 鴻巣市としての提言を

【質】建設地となる郷地安養寺の農業集落排水の処理は増やせる状況ではありません。このことを組合に先に知らせるべきでは。また、施設規模を小さくし環境に極力影響を及ぼさないよう、ごみの徹底した減量を提言すべきではないでしょうか。鴻巣市の小中学校給食残渣の完全堆肥化のような取組をさらに構成市町にも広げるなど提言をすべきでは。

【答】埼玉中部環境保全組合が、施設規模や処理方式等を検討し決定するときに相談があれば対応します。また、組合に対して提言する必要がある場合には機会をとらえて提言します。

